

# 埼玉アートシアター通信

2016 1月-2月

SAITAMA  
ARTS THEATER  
PRESS  
VOL.61

## 『蜷の綿 -Nina's Cotton-』

YUKIO NINAGAWA × TAKAHIRO FUJITA

### 彩の国2016 年間ラインナップ発表!

彩の国シェイクスピア・シリーズ第32弾  
『尺には尺を』

アクラム・カーン&イスラエル・ガルバン  
『TOROBAKA-トロバカ』

佐藤俊介

福間洸太郎

小山実稚恵

CONTENTS

- 03 〈PLAY〉 **蛭の綿のわた** ～蛭川幸雄の見た風景～
- 06 〈PLAY〉 ひとクセある人物たちによる風変わりな喜劇  
彩の国シェイクスピア・シリーズ第32弾『**尺には尺を**』  
松岡和子 (翻訳) Interview
- 08 彩の国2016 年間ラインナップ
- 10 〈DANCE〉 **アクラム・カーン&イスラエル・ガルバン**  
『**TOROBACA** トロボカ』  
アクラム・カーンとイスラエル・ガルバンによる話題のデュオ、ついに日本上陸!
- 12 〈MUSIC〉 佐藤俊介の現在Vol.2 ドイツ・ロマン派への新たな眼差し  
**室内楽は身近な楽しみ**——ロマン派の室内楽の世界
- 14 〈MUSIC〉 ピアノ・エトワール・シリーズ アンコール! Vol.5  
**福間 洸太郎** Interview  
「時空を超えた旅」と「戦争と平和」命日に捧げる武満徹へのオマージュ
- 16 〈MUSIC〉 「次代へ伝えたい名曲」第6回  
**小山実稚恵** Interview  
「音楽が好き」その気持ちを大切にしてほしい
- 18 REVIEW
- 20 イベントカレンダー / チケットインフォメーション / 彩の国シネマスタジオ
- 23 INFORMATION
- 24 〈COLUMN〉岩松 了 連載「どっちつかずの天使」

〔表紙〕蛭川幸雄、藤田貴大「蛭の綿-Nina's Cotton-」 Photo ©宮川舞子  
編集 ©川添史子、榊原律子 デザイン ©柳沼博雅

©公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団 Published on 15 January 2016 All Rights Reserved by Saitama Arts Foundation  
※掲載情報は、2015年12月25日現在のものです。公演は追加および一部変更される場合がありますので、ご了承ください。

# にな わた 〈 腸 〉 蛭の綿のわた

## ～蛭川幸雄の見た風景～

藤田貴大（マームとジブシー）が、蛭川幸雄の半生を描き出す新作『蛭の綿-Nina's Cotton-』。〈蛭〉という字は巻貝という意味もあり、貝の中の〈はらわたを描くように……〉という作家の気持ちが込められているという。そんな蛭川の足跡を刻む同作には、さまざまな〈場所〉が登場する。今月の巻頭特集では、蛭川の演出家人生に重要な影響をおよぼした場所をめぐり、当時の写真を見ながら、蛭川を形作る〈はらわた〉をのぞく。

取材・文 ● 川添史子 写真提供 ● MY Promotion Inc.

### 少年時代

#### 【荒川の土手】

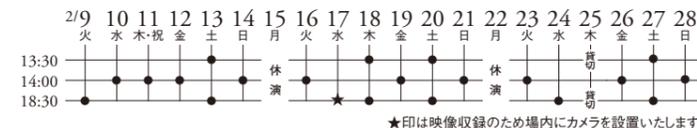
蛭川幸雄は埼玉県川口市の本町に生まれた。川口方面から荒川を挟んで向こうは赤羽だ。蛭川はエッセイ「演劇の力」（日本経済新聞出版社）に「一九四五年の四月、東京の赤羽が空襲で焼けた。歩道に父が掘った防空壕があり、家族でくっついて入る。そこからのぞくと、荒川の対岸が紅蓮の炎に包まれるのが見えた。雪が降るのを見あげていると、どこまでも続く空の高さが感じられる。あの雪が火の粉に変われば、焼夷弾の空襲になる。こわいけれど、壮絶な美しさだった」と書いている。



### チケット発売中

#### 『蛭の綿 -Nina's Cotton-』 蛭川幸雄 演出版

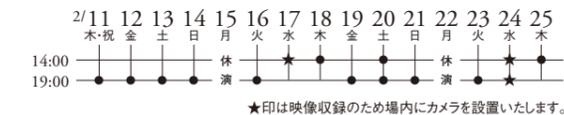
**2.9(火)～28(日)** 彩の国さいたま芸術劇場 インサイド・シアター(大ホール内)  
[作]藤田貴大 [演出]蛭川幸雄  
[出演]さいたまゴールド・シアター、さいたまネクスト・シアター  
チケット(税込) 全席自由(整理番号付) 一般 5,000円  
メンバーズ 4,800円 U-25\*(枚数限定) 4,000円  
2作品セット券(前売りのみ)\* 一般 9,000円 U-25\*(枚数限定) 7,000円



\*U-25チケットは公演時、25歳以下の方が対象です。入場時に身分証明書をご提示ください。 \*2作品セット券はSAFチケットセンター(0570-064-939)でお取扱いいたします。

#### 『蛭の綿 -Nina's Cotton-』 藤田貴大 演出版

**2.11(木・祝)～25(木)** 彩の国さいたま芸術劇場 小ホール  
[作・演出]藤田貴大 [出演]マームとジブシー  
チケット(税込) 全席自由(整理番号付) 一般 4,500円  
メンバーズ 4,300円 U-25\*(枚数限定) 3,500円  
2作品セット券(前売りのみ)\* 一般 9,000円 U-25\*(枚数限定) 7,000円



# 蜷川幸雄 略年譜

## 1935

1935年(昭和10年) 0歳  
10月15日、父蜷川秀一、母その子の4男として埼玉県川口市に生まれる。

1942年(昭和17年) 7歳  
川口市の第一国民学校(現・本町小学校)に入學。

1945年(昭和20年) 10歳  
4月13日、翌日未明にかけ、荒川対岸の赤羽が空襲で焼けるのを見る。川口は本格的な空襲を免れた。

1951年(昭和26年) 16歳  
開成高校入学。野球部とスキー部に所属。油絵を描き始め、新劇に熱心に通うように。

1952年(昭和27年) 17歳  
落第し、一年生に留年。あこがれていた三好十郎を訪ねる。

1955年(昭和30年) 20歳  
劇団青俳の『制服』(安部公房)に感銘を受け、劇団員に応募し合格。『快速船』(安部公房)で初舞台。英文学者の倉橋健に戯曲分析、安部公房に演劇理論を学ぶ。俳優・木村功に演技の手ほどきを受ける。

1960年(昭和35年) 25歳  
青俳『明日そこに花を挿そうよ』で主人公の弟役を演じる。これをきっかけに作者である早大生・清水邦夫と親しくなる。

1966年(昭和41年) 31歳  
青俳の女優・真知子と結婚。

1967年(昭和42年) 32歳  
青俳の稽古場で初演出となる『ヴォルフガング・ホルヒェルトの作品からの九章』を手掛ける。蟹江敬三、石橋蓮司が出演。

1968年(昭和43年) 33歳  
青俳を退団した岡田英次、蟹江敬三、石橋蓮司、真知子らと劇団現代人劇場を結成。

1969年(昭和44年) 34歳  
現代人劇場『真情あふるる軽薄さ』(清水邦夫)で対外的に演出家デビュー。清水邦夫とのコンビでアートシアター新宿文化を拠点に活動を開始。

1971年(昭和46年) 36歳  
『鴉よ、おれたちは弾丸をこめる』を最後に現代人劇場を解散。

1972年(昭和47年) 37歳  
櫻社結成、旗揚げ公演は『はくらが非情の大河をくだる時—新宿善哉戦争』(清水邦夫)。

1973年(昭和48年) 38歳  
櫻社『泣かないのか?泣かないのか一九七三年のために?』でアートシアター新宿文化の舞台に立ち、新宿撤退宣言。

1974年(昭和49年) 39歳  
東宝『ロミオとジュリエット』で商業演劇デビュー。櫻社解散。

1979年(昭和54年) 44歳  
東宝『近松心中物語』の演出で第四回菊田一夫演劇賞。

1983年(昭和58年) 48歳  
『王女メディア』で初の海外公演。ローマ、アテネなどを巡演。

1985年(昭和60年) 50歳  
初の英国公演『NINAGAWA・マクベス』でエディンバラ国際フェスティバルに参加。

1987年(昭和62年) 52歳  
『NINAGAWA・マクベス』『王女メディア』でロンドン、ナショナル・シアターにデビュー、絶賛を浴びる。英ローレンス・オリヴィエ賞の演出部門にノミネート。『NINAGAWA・マクベス』『テンペスト』で第三八回芸術選奨文部大臣賞。

1998年(平成10年) 63歳  
彩の国さいたま芸術劇場でシェイクスピア全37作を上演するシリーズ『彩の国シェイクスピア・シリーズ』第1弾『ロミオとジュリエット』を上演する。

2006年(平成18年) 71歳  
彩の国さいたま芸術劇場の芸術監督に就任。さいたまゴールド・シアター発足。

2009年(平成21年) 74歳  
さいたまネクスト・シアターが『真田風雲録』で旗揚げ。

2010年(平成22年) 75歳  
文化勲章受章。

## 2016

2016年(平成28年) 2月 80歳  
自らの半生をモチーフにした『蜷の綿-Nina's Cotton-』を演出。

# 日本・世界の出来事

1936年(昭和11年) 二・二六事件

1937年(昭和12年) 大東亜戦争 盧溝橋事件

1939年(昭和14年) 第二次世界大戦

1940年(昭和15年) 日独伊三国同盟締結

1941年(昭和16年) 真珠湾攻撃 太平洋戦争始まる

1945年(昭和20年) ポツダム宣言を受諾、第二次世界大戦終結

1946年(昭和21年) 日本国憲法公布

1950年(昭和25年) 朝鮮戦争

1951年(昭和26年) サンフランシスコ平和条約 日米安全保障条約

1953年(昭和28年) TV放送開始

1955年(昭和30年) トランジスタラジオ発売

1956年(昭和31年) 日ソ国交回復

1958年(昭和33年) 東京タワー完成

1959年(昭和34年) 皇太子・美智子妃ご成婚

1960年(昭和35年) カラーTV放送開始 60年安保闘争

1964年(昭和39年) 東京オリンピック開催 東海道新幹線開業

1965年(昭和40年) ベトナム戦争

1968年(昭和43年) 3億円事件、大学紛争

1969年(昭和44年) 東大安田講堂事件

1970年(昭和45年) 大阪万博 『よど号』ハイジャック

1972年(昭和47年) 沖縄返還 札幌オリンピック 浅間山荘事件

1975年(昭和50年) ベトナム戦争終結

1976年(昭和51年) ロッキード事件

1978年(昭和53年) 成田空港開港

1980年(昭和55年) イラン・イラク戦争

1984年(昭和59年) グリコ・森永事件

1985年(昭和60年) つば万博 日航機墜落事故

1988年(昭和63年) リクルート事件

1989年(平成元年) 消費税3%導入

1990年(平成2年) 東西ドイツ統一

1991年(平成3年) 湾岸戦争、ソ連邦消滅

1995年(平成7年) 阪神淡路大震災 地下鉄サリン事件

2001年(平成13年) アメリカ同時多発テロ

2003年(平成15年) イラク戦争

2011年(平成23年) 東日本大震災

# わた (編) 蜷の綿のわた ~蜷川幸雄の見た風景~



仕立て職人の父、母と兄弟たち。一番左が蜷川。



## 川口駅

JR川口駅。錆物の町らしく、溶けた鉄を錆型に流し込む職人を形作った『働く喜び』像が駅前に。



## 川口市立 本町小学校

蜷川が通った小学校。級長を務め、野球、水泳、リレーの選手と、スポーツも万能。優等生だった。



## 川口神社

終戦間際の区画整理で、このあたりに家族で引っ越した。



## 荒川土手

出征する人がいると、界隈の人はこの土手に集まり汽車を見送った。



## 藤田貴大 生まれる。



錆物工場の立ちならぶ界隈で育ち、生粋の(川口っ子)という蜷川。吉永小百合主演でヒットした映画『キューボラのある街』はここを舞台にした青春ドラマだ。キューボラとは鉄の溶解炉。現在は電気が主で、写真の工場のように、火を使用する炉を使う工場はわずかと。鉄と煙の混じった独特の匂いのたれこめた作業場で、燃えさかる火や鉄と絡まる錆物師と呼ばれる職人たちはカッコいい(取材協力=河村錆造所)。

## 演劇との出会い



開成高校在学中、新劇通いをはじめ。東京芸大受験に失敗し、青俳に入団。入団半年、初舞台は安部公房『快速船』(演出=倉橋健)。



## 新宿時代



前衛的な映画を配給する日本アートシアター・ギルド(ATG)の中核劇場であった新宿文化。アンダーグラウンド(さそり)座を地下に設け、映画がはねたあと夜の九時半から演劇を上演、『真情あふるる軽薄さ』(写真右)を上演した。評判が評判を呼び、開演を待つ人の列が劇場を幾重にも囲んだ。ちなみに、1984年には花園神社(上)で『王女メディア』野外公演を上演(写真提供=花園神社)。



1971年にアートシアター新宿文化で上演された『鴉よ、おれたちは弾丸をこめる』を最後に現代人劇場を解散。上は現在の外観。



櫻社を結成した翌年上演された『盲導犬』のチラシ。

## 商業演劇、そして現在



1972年、長女実花が生まれる。優秀な主夫として育児に熱中。商業演劇初演出作『ロミオとジュリエット』(1974年)の上演前夜。1974年夏に櫻社を解散する。



舞台上に仏壇を設置し(仏壇のマクベス)として知られる『NINAGAWA・マクベス』(1978年)のプランは、川口の実家で仏壇に手を合わせた空時にひらめいた。1985年夏にエディンバラ国際フェスティバルに参加、シェイクスピア作品を英国で公演した初めての作品(1987年には英国ナショナル・シアターで上演)。

## 2006年、彩の国さいたま芸術劇場の芸術監督に就任。

彩の国シェイクスピア・シリーズ、さいたまゴールド・シアター、さいたまネクスト・シアターなどで、革新的な舞台を作り続けている。



彩の国シェイクスピア・シリーズ『ロミオとジュリエット』(1998年) Photo©高嶋ちくさ



さいたまゴールド・シアター『船上のピクニック』(2007年) Photo©宮川舞子



さいたまネクスト・シアター『真田風雲録』(2009年) Photo©宮川舞子

## ひとくせある人物たちによる風変わりな喜劇

彩の国シェイクスピア・シリーズ第32弾

## 『尺には尺を』

Interview 松岡和子 (翻訳)

国内外で数多くの話題作を発表してきた  
彩の国シェイクスピア・シリーズも、残すところあとわずか!  
2016年の第一弾は、『尺には尺を』に決定した。  
喜劇であると同時に〈問題劇〉とも呼ばれる今作のみどころを、  
翻訳の松岡和子に聞く。

取材・文 ● 川添史子

## S T O R Y

舞台はウィーン。ここを治める公爵ヴィンセンショーは全権をアンジェロに委任し、国外に出ると言う。が実は修道士に変装して国内に留まり、権力が人をどう変えるのか、観察したいと思っていたのだ。アンジェロは、街を厳しく取り締まる。その折り、若い貴族クローディオが恋人ジュリエットを妊娠させてしまう。厳格なアンジェロは彼に死刑を宣告。クローディオの友人ルーチオは、クローディオの妹イザベラを訪ね、アンジェロに会って兄の死刑の取り消しを頼むよう助言する。イザベラはアンジェロに面会し慈悲を求め、何とアンジェロはイザベラに恋をしてしまい……。

2幕：イザベラがアンジェロに兄の命乞いをする場面

— まずは翻訳されて気付いた「尺には尺を」の特徴から伺えますか？

登場人物がみんな〈その立場の資格のない人たち〉なんですよ。まず公爵はウィーンで一番偉い人なのに、執政を部下のアンジェロに押し付ける。支配者としてどうだろう？ ですよ。そのアンジェロは、謹厳実直だと本人も思っているけれど、婚前交渉で死刑宣告を受けた兄の命乞いに来た美人のイザベラに「お前の操と交換だ」と、とんでもない条件を出す。肝心のイザベラは、清らかな乙女で立派な女性であることは確かです。でも、彼女が修道女見習いとして入ったセントクレアという修道会の一歩の戒律は沈黙なんです。でもこの人はしゃべるしゃべる(笑)。また「操を捧げて自分の命を助けてくれ」と頼む兄を「獣だ、卑怯者だ」とののしりますよね(笑)。普通の女性なら正しい怒りですが、修道女としては……。そのほか、どこか欠けていたり、歪んでいたり、そんな人物ばかりがズラリ並んでいます。

— クセのある人たちばかり。

— 一見、感情移入しにくい、一貫性がない人物と思うかもしれませんが、シェイクス

ピアにキャラクターの一貫性を求めてはダメなんです(笑)！ 人間の中の矛盾、舌の根も乾かぬうちに真逆なことを言う不思議さ。でもそういうことって、人間にはありますよね。ハムレットもオフィーリアに対して、「心からお前を愛したこともある」「愛したことなどない」と言い、後半、お墓に入ったオフィーリアを抱いて「オフィーリアを愛していた、4万人の兄よりも！」と言う。彼の中ではすべて本当、その時の真実を言っているんだと思う。今回はその種の矛盾の塊みたいな本ですから(笑)。役者の方々は悩むだろうけれど、無理に補助線を引かず、瞬間、瞬間、本気でせりふを言ってくださればいいと思います。

— ハッピーエンドと言いつらい皮肉な結末も、この作品の謎を深めます。

シェイクスピアの喜劇は大体、結婚で終わりますが、この作品の場合は〈罰としての結婚〉だと思います。アンジェロと元婚約者マリアナの結婚は、少なくともアンジェロにとっては「いわれもなく婚約破棄をした責任をとって結婚しなさい」という罰です。公爵とイザベラの結婚は複雑で、もちろん罰とは書いてありませんが、どう

いう動機で公爵がイザベラと結婚したいと思ったかも書かれていなくて、突如「お前と結婚しよう」と言う。しかもイザベラの答えが戯曲には書かれていない。だからプロポーズに対して「はい」なのか「いいえ」なのか分からない。それくらい、アンビバレントな結末ですから、演出によってまったく自由な解釈が可能なんです。

— 混沌とした時代の空気を受けて書かれ、喜劇としては「いや～な感じ」と言われるような、〈問題劇〉とカテゴライズされる戯曲ですね。

そう。でもシェイクスピアの先見の明はすごいと思うんです。アンジェロが「お前の操を……」とイザベラに向かって持ちかけたときに「あなたがそんな人だってことを世間に訴えます」と言うイザベラに「私の社会的地位を考えれば、誰もお前を信じない」と繰り返します。このメカニズムって、現代で言うセクハラ、パワハラ。核。そういう意味では、いろんな問題が埋まっているお芝居です。カタルシスがない「いや～な感じ」のラストの解釈に現代性が見えてくるでしょうし、それこそをお客様にも楽しんでいただきたいですね。



藤木直人

多部未華子

辻 萬長

キャストにも、豪華な顔ぶれが決定した。アンジェロ役に『海辺のカフカ』で中性的な役柄を好演した藤木直人、イザベラに『わたしを離さないで』で透明感ある演技を見せた多部未華子、ヴィンセンショーに『ヘンリー四世』以来の蜷川シェイクスピアへの挑戦となる辻萬長を迎えておく。これまでも蜷川の舞台で鮮烈な印象を残した魅力的なキャストがそろい、2016年の彩の国シェイクスピア・シリーズを彩る。

発売日 一般 3,19(±) メンバーズ 3,12(±)

彩の国シェイクスピア・シリーズ第32弾『尺には尺を』

5.25(水)～6.11(土) 彩の国さいたま芸術劇場 大ホール

[演出] 蜷川幸雄 [作] W.シェイクスピア [翻訳] 松岡和子

[出演] 藤木直人、多部未華子

原 康義、大石継太、廣田高志、間宮啓行、妹尾正文、

岡田 正、清家栄一、新川将人、手打隆盛\*、松田慎也\*

立石涼子、石井愼一、辻 萬長 ほか \*さいたまキネスタシアター

チケット(税込)

一般 S席9,500円 A席7,500円 B席5,500円/U-25\*(B席対象)2,000円

メンバーズ S席8,600円 A席6,800円 B席5,000円

\*メンバーズには別途ご案内するプレオーダー(抽選)があります(2月下旬予定)。

\*U-25チケットは公演時、25歳以下の方が対象です。入場時に身分証明書をご提示ください。

	5/25	26	27	28	29	30	31	6/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
13:30	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
18:30	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

★印は映像収録のため場内にカメラを設置いたします。

2016年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2017年 1月	2月	3月			
<p>4/15(金) 彩の国さいたま寄席 四季彩亭 ～精鋭若手落語会 詳細はP.21</p>	<p>5/25(水)～6/11(土) 彩の国シェイクスピア・シリーズ第32弾 『尺には尺を』 演出:蛭川幸雄 作:W.シェイクスピア</p>  <p>藤木直人 多部未華子 辻 萬長</p>	<p>7月 彩の国さいたま寄席 四季彩亭</p>  <p>彩の国シェイクスピア・シリーズの最新作は喜劇『尺には尺を』に決定! 個性的で魅力的なキャラクターが織りなす、「ほろ苦い喜劇」がついに登場! 詳細はP.6-7</p>	<p>8月 劇場体験ツアー(予定)</p>  <p>Photo©加藤英弘</p>	<p>8月 児童劇(予定) 8/7(日) オックスフォード大学演劇協会 『夏の夜の夢』</p>	<p>10月 彩の国シェイクスピア・シリーズ番外編 NINAGAWA×SHAKESPEARE LEGENDⅢ 『ハムレット』 演出:蛭川幸雄 作:W.シェイクスピア</p> <p>蛭川幸雄のライフワークとも言える『ハムレット』。9度目の新演出で更なる高みを目指す。</p>	<p>10月 彩の国さいたま寄席 四季彩亭</p>	<p>12月(予定) 1万人の ゴールド・シアター 2016</p>  <p>Photo©宮川舞子</p>	<p>1月 『近松心中物語』 作:秋元松代 演出:蛭川幸雄</p> <p>降りしきる雪の中、想いを遂げる二人…一途な愛を切なく、美しく、鮮烈に描きだした蛭川幸雄の金字塔がオリジナル演出で蘇る!</p>	<p>1月 彩の国さいたま寄席 四季彩亭</p>					
<p>ルーマニア公演 4/14(木)・15(金) 第10回国際シェイクスピアフェスティバル さいたまネクスト・シアター さいたまゴールド・シアター 『リチャード二世』 演出:蛭川幸雄 作:W.シェイクスピア</p>  <p>Photo©宮川舞子</p>	<p>7/28(木) 松竹大歌舞伎 会場:熊谷文化創造館さくらめいと 太陽のホール 出演:市川染五郎 他</p>	<p>65歳以上の出演者を大募集します! 埼玉から発信する世界最大級の群集劇に あなたも参加してみませんか! (総合演出 蛭川幸雄)</p> <p>年齢をかさねて豊かになった人生経験が、あなたの中で眠っていませんか? 人前で演じてみたい、感じたことを叫んでみたい、思ったことを大声で言ってみて、そう考えたことはありませんか? はちきれそうな、そんな思いをおもちの65歳以上の皆さん「1万人のゴールド・シアター2016」にご出演ください! 人生経験たっぷりなあなただから、できる表現があります。</p>	<p>2014年『パノラマ』で好評を博したフィリップ・ドゥクフレ率いるカンパニー DCA。ドゥクフレならではの造形美とユーモアがさらに進化! 新境地をお楽しみに!</p>	<p>10月末 フィリップ・ドゥクフレ カンパニーDCA 『CONTACT-コンタクト』</p>  <p>Photo©Laurent Philippe</p>	<p>12/2(金)～4(日) [提携公演] NBAバレエ団</p>  <p>Photo©鹿摩幸治</p>	<p>世界の舞台芸術に革命を起した振付家ピナ・バウシュの1980年代の代表作が登場!</p>	<p>2/5(日) [提携公演] ダンスセッション</p>	<p>3/16(木)～19(日) ピナ・バウシュ ヴァッパター舞踊団 『NELKEN-カーネーション』</p>  <p>Photo©Laszlo Szto</p>						
<p>5/7(土)・8(日) アクラム・カーン&amp; イスラエル・ガルバン 『TOROBAKA- トロバカ』</p> <p>イギリスを代表する振付家・ダンサーのアクラム・カーンとフランスのコンテンポラリー・ダンス界のニジンスキー:イスラエル・ガルバン。ダンスの化身が競演する話題作の日本初演。 詳細はP.10-11</p>  <p>Photo©Jean-Louis Fernandez</p>	<p>6/18(土)・19(日) コンドルズ埼玉公演 新作シリーズ10作目!</p> <p>『新作』</p>  <p>コンドルズ埼玉公演2015 [スロベニア・フェールズ] Photo©HARU</p>	<p>8月 [提携公演] ※内容は4月以降に発表。</p>	<p>8/31(水)～9/3(土) [共催公演] ピアノデュオ ドゥオール デュオ・セミナー 創造の4日間 in 彩の国さいたま芸術劇場 (9/3 修了コンサート)</p>	<p>9/11(日) ピアノ・エトワール・シリーズVol.29 田村 響 ピアノ・リサイタル 詳細はP.22</p>  <p>Photo©Mika Bovan</p>	<p>10/10(月・祝) イザベル・ファウスト&amp; クリスティアン・ベザイデンホウト オール・パッサ・プログラム</p>  <p>Photo© Detlev Schneider Photo© Marco Borggreve</p>	<p>10/22(土) レ・ヴァン・フランセ</p>  <p>Photo©wildandreise.de Georg Thum</p>	<p>10/29(土)・30(日) [共催公演]加藤訓子 Project IX- PLEIADES (ヤニス・クセナキス)</p>  <p>Photo©武藤章</p>	<p>11/5(土) NHK交響楽団 12人のチェリストたち</p>  <p>Photo©加藤英弘</p>	<p>11/12(土) パッサ・コレギウム・ ジャパン J. S. バッハ 《ミサ曲 口短調》</p>  <p>Photo©Marco Borggreve</p>	<p>11/19(土) ピアノ・エトワール・シリーズ Vol.30 ニコライ・ホジャイノフ ピアノ・リサイタル 詳細はP.22</p>  <p>Photo©Teruyuki Yoshimura</p>	<p>12/10(土) 「次代へ伝えたい名曲」 第8回 藤原真理 チェロ・リサイタル</p>  <p>Photo©Atsuya Iwashita</p>	<p>1/21(土) ピアノ・エトワール・シリーズ Vol.31 キット・アームストロング ピアノ・リサイタル 詳細はP.22</p>  <p>Photo©Jason Alden</p>	<p>2/11(土・祝) 佐藤俊介の現在Vol.3 ロレンツォ・コッポラ(クラリネット) 小菅 優(ピアノ)</p>  <p>Photo©Yat Ho Tsang</p>	<p>3/11(土) 「次代へ伝えたい名曲」 第9回 竹澤恭子 ヴァイオリン・リサイタル</p>  <p>Photo©Tetsuro Takai</p>
<p>光の庭プロムナードコンサート 4/23(土) 第83回 徳田佑子(オルガン)&amp; 森吉京子(リコーダー)</p>	<p>5/21(土) 第84回 ～ばらまつりスペシャル～ 野美山由加里(オルガン) &amp;渡辺隆太(トランペット)</p>	<p>6/25(土) 第85回 上野静江(オルガン)&amp; 森本隆子(ソプラノ)</p>	<p>7/30(土) 第86回 ～夏休みスペシャル～ 小野田未奈(オルガン)&amp; 石森裕子(サクソフォン)&amp; 藤橋万記(パーカッション)</p>	<p>9/17(土) 第87回 田宮 亮(オルガン)&amp; 岩崎花保(フルート)</p>	<p>10/29(土) 第88回 モニカ・メルツォーヴァ (オルガン・ソロ)</p>	<p>12/17(土) 第89回 ～トワイライト・スペシャル～ 山田由希子(オルガン)&amp; 山本 徹(チェロ)</p>	<p>1/28(土) 第90回 大塚直哉(オルガン)&amp; 大西律子(バロック・ヴァイオリン)</p>  <p>Photo©Nadia F. Romanini</p>							

PLAY

DANCE

MUSIC

# アクラム・カーン & イスラエル・ガルバン

## 『TOROBAKA -トロバカ』

アクラム・カーンとイスラエル・ガルバンによる話題のデュオ、  
ついに日本上陸!

インド古典舞踊「カタック」と現代ダンスを融合させた振付や、異分野を越境していくユニークな創作で、注目を浴びているアクラム・カーン。「フラメンコ界のニジンスキー」と呼ばれるイスラエル・ガルバン。二人の異才ダンサーが織りなす目を見張る競演が、この春、来日する。

文◎海野 敏 (東洋大学・舞踊評論家)

フラメンコとカタック、それぞれの達人の出会いが生んだ舞台は、二つの伝統舞踊の競演でも融合でもなかった。2014年秋、『トロバカ』の英国初演をサドラーズ・ウェルズ劇場で見終えたとき、少し興奮気味だったことを思い出す。コンテンポラリー・ダンスとしか名づけようのない、新しいダンスの誕生に立ち会えたと感じたからである。

### 二人の天才

イスラエル・ガルバンは1973年、スペインのセビリア(セビージャ)生まれ。両親ともにフラメンコ・ダンサーであり、幼いころに両親のもとで正統派のフラメンコを身につけた。1994年、マリオ・マヤが率いるアンダルシア舞踊団に参加し、その後は若き天才の名をほしいままにし、20代でフラメンコの主要な賞を総なめにしている。

25歳のとき、ガルバンは自らのカンパニーを結成し、創作を始めた。彼は伝統的なフラメンコの様式に飽き足らず、次々と革新的な振付作品を発表。『ラ・メタモルフォシス』ではカフカの不条理小説『変身』を舞踊化して、その前衛的な意匠で注目を浴びた。『ロ・レアル』ではナチスによるロマ民族(いわゆる「ジプシー」)の大量虐殺を題材にし、賛否両論を巻き起こした。一方、日本でも上演された彼の代表作『黄金

時代』では、あえて由緒正しい伝統的なフラメンコをソロで踊りまくり、これも喝采を浴びている。

アクラム・カーンは1974年、英国のロンドン生まれ。両親は、インド亜大陸のバングラディッシュ出身である。7歳から北インドの古典舞踊であるカタックを学び始め、13歳でピーター・ブルック演出の『マハーバーラタ』に出演。その後、英国の大学でコンテンポラリー・ダンスを専攻している。

26歳のとき、カーンは自らのカンパニーを結成した。彼の作品は、カタックの伝統音楽と舞踊語彙を積極的に用いつつ

も、カタックの様式からは逸脱している。まもなくダンサー、振付家として注目され、舞台関係の賞をほぼ毎年受賞するようになる。『Ma』では大地と母をテーマとし、その革新的な演出に高い評価が集まった。彩の国さいたま劇場でも上演された『ゼロ度 zero degrees』ではシディ・ラルビ・シェルカウイと共演し、多文化主義のアボリアを淡々と表現してみせた。同劇場では『DESH-デッシュ』も上演されており、アイデンティティー探求の旅をソロで演じて印象深かった。

二人の天才は、伝統的な舞踊を出自とし、そこに根ざしながら、時代に即した新

奇な舞踊芸術を模索している点で共通している。年齢もほぼ等しい。『トロバカ』は、この二人が共同制作した約70分の濃密な舞台である。

### 作品の見どころ

二人が踊るのは、直径十数メートルの円形舞台。ほの暗い照明の下で黒い衣装の二人が、ときにソロで、ときにデュエットで踊り続ける。周囲には5人のミュージシャンが控え、伝統的な響きの歌と器楽をダンスに添える(来日公演は4人構成の予定)。

第1の見どころは、フラメンコとカタックの親和性である。そもそもフラメンコ

アクラム・カーン  
Akram Khan

コンテンポラリー・ダンスとインドの古典舞踊「カタック」をユニークに融合させ、異文化を越境する表現活動を精力的に行う、今、世界が最も注目する振付家の一人。2000年自身のカンパニー設立。シディ・ラルビ・シェルカウイやシルヴィ・ギエム、女優ジュリエット・ピノシュとのコラボレーションでも大きな注目を集めたほか、2012年夏のロンドン・オリンピック開会式でも振付、出演し話題を呼んだ。英国サドラーズ・ウェルズ劇場アソシエイト・アーティスト。



イスラエル・ガルバン  
Israel Galván

複雑でスピーディなフットワーク、フラメンコの新たな世界を切り拓く独創性で知られるダンサー・振付家。1998年のカンパニー設立以来、革新的な作品を次々発表、「フラメンコ界のニジンスキー」とも評される。スペイン国内で多数受賞のほか、2012年にベッシー賞(NY)を受賞。『TOROBAKA』では、第16回英国ナショナル・ダンス・アワードに傑出した男性ダンサーとしてノミネートされている。パリ市立劇場アソシエイト・アーティスト。

発売日 一般 1,30(土) メンバーズ 1,24(日)

アクラム・カーン&イスラエル・ガルバン  
『TOROBAKA-トロバカ』

5.7(土)・8(日)開演15:00

彩の国さいたま芸術劇場 大ホール

[演出・振付・出演] アクラム・カーン、イスラエル・ガルバン

チケット(税込) 一般 S席6,000円 A席4,000円

U-25\* S席3,500円 A席2,000円

メンバーズ S席5,400円 A席3,600円

\*U-25チケットは公演時、25歳以下の方が対象です。入場時に身分証明書をご提示ください。  
※演出の都合により、開演時間に遅れますとお席へのご案内ができない場合がございます。予めご了承ください。

エムとの共作『聖なる怪物たち』で証明済み。本作品でも、しばしばガルバンと向かい合って彼の身体に触れ、ガルバンの次の動きを引き出してゆく。その振付メソッドは、伝統的なフラメンコでもカタックでもなく、もちろん即興でもなく、十分に計算されたコンテンポラリー・ダンスの手法である。

第3の見どころは、二人のヴィルトゥオーソである。それぞれのソロでは、古典的な様式美を会得した達人が、その様式から一歩踏み出したときの凄みを存分に味わえる。さらに二人のデュエット、とりわけユニゾンに注目してほしい。並んで同じ振付で踊るとき、その色調と感触の違いに驚かされる。それが面白い。総じてカーンの踊りは内省的、ガルバンの踊りは外向的に見えるが、それが逆転する瞬間も訪れる。

作品名は、ダダイストの詩人トリスタン・ツァラの詩からの借用であると同時に、スペイン語の“toro”(雄牛)と“vaca”(雌牛)の合成であるという。牛はスペインとインド、どちらの国でも神聖な動物として扱われている。ユーラシア大陸の東のはずれの島国でも、ガルバンとカーンは2匹の聖なる獣となり、はるか中世と現代、インド亜大陸とヨーロッパ半島をつなぎ寄せ、新たなコンテンポラリー・ダンスの誕生を導くことは、バレエの美神、シルヴィ・ギ

## 佐藤俊介の現在 Vol.2 ドイツ・ロマン派への新たな眼差し

時代もスタイルも自在に超えるヴァイオリニスト佐藤俊介が企画する演奏会「佐藤俊介の現在」。  
第2回の今年は、メンデルスゾーン姉弟、シューマン夫妻という“家族”の室内楽をクローズアップする。

室内楽というと、少人数で演奏するがゆえに、かえって難しいイメージを持つかもしれないが、  
前号掲載のインタビューで佐藤が語ったように、実は、親密な空間で演奏されるものだった。

室内楽の本来の姿とはどのようなものか、

そして、ファニー・メンデルスゾーンとクララ・シューマンという女性作曲家たちはどのように活躍したのか、紐解いてみよう。

## 室内楽は 身近な楽しみ ——ロマン派の室内楽の世界

文◎西原 稔 (桐朋学園大学・音楽学)

### 笑顔で和気あいあいと 室内楽の楽しみ

もともと室内楽は自ら演奏して楽しむジャンルである。ハイドンが宮廷楽長を務めたエステルハージ公はバリトンという弦楽器をこよなく愛好し、ハイドンはこのバリトンを含む室内楽を数多く作曲している。うまくアンサンブルができては喜び、アンサンブルが乱れては大笑いをし、和気あいあいとした雰囲気満ちているのが室内楽である。

ロマン派になると女性で音楽をたしなむ人が多くなる。もっとも19世紀では一般に女性に許されたのは歌唱とピアノのみであったために、女性の参加できる室内楽はピアノを含む編成が主であった。実際、女性がピアノを弾く室内楽の絵が数多く残されている。面白いことに修道院でも室内楽が楽しまれていた。18世紀後半の楽譜を収蔵しているオーストリアのゲットヴァイク修道院には膨大な室内楽の筆写譜が収蔵されており、修道僧が室内楽の演奏を楽しみとしていたことがわかる。

19世紀の室内楽のレパートリーを見ると、今日の一般的な編成とは異なる楽器編成の室内楽が多い。それはギターやフルートを含む編成である。ヨーロッパではバ



ロック時代以来、ギターは広く用いられ、19世紀では家庭楽器として愛好された。バガニーニもギターを愛し、この楽器のための作品を数多く作曲している。そのほかイタリアのジュリアーニも19世紀前期の代表的なギター音楽の作曲家である。

### 音楽の大衆化と 芸術音楽のはざま

19世紀の室内楽は、クラシック音楽の大衆化に貢献するとともに、こうした大衆化に抗うもっとも芸術的で高尚な音楽としての側面も強くした。この二面性はシューベルトの作品にも示されている。実際、彼の弦楽四重奏曲のなかにはコンヴィクト(寄宿舎学校)での生徒との演奏を目的とした第1番や、父の命名祝日のために作曲され

た第6番のように身近な人々との演奏を意図した作品も多い。ヴァイオリンのためのソナチネも平明で親しみやすい作品である。その反面、2曲のピアノ三重奏曲や晩年の弦楽四重奏曲、弦楽五重奏曲など、芸術家としての峻厳なシューベルトの顔を見せる室内楽も書かれている。

### 才能あふれるファニーとクララ 女性と室内楽

1830年代以降、女性のピアノ学習の割合が非常に高まる。それにもなって音楽学校での女性の声乐とピアノの学習が盛んになり、また個人指導でピアノを学ぶ情勢も急増する。こうした女性の音楽への進出を象徴するのが、シューマンの妻のクララと、メンデルスゾーンの姉のファニーであ



フェーリクス・メンデルスゾーン  
(1809～47)



ファニー・メンデルスゾーン  
(1805～47)



シューマン夫妻  
ローベルト(1810～56)と  
クララ(1819～96)

る。この二人の聡明にして、音楽の才能に恵まれた女性は19世紀における音楽文化の一端を象徴している。

クララとファニーの室内楽作品は紹介されることが少ない。ローベルト・シューマンとフェーリクス・メンデルスゾーンに多大な影響を及ぼした音楽家としての彼女らの創作は近年、様々な形で評価されてきている。

ファニー・メンデルスゾーンの創作では弟フェーリクスに先立って創作した《無言歌》や歌曲が知られているが、ピアノ三重奏曲二短調作品11は非常に注目すべき作品である。骨太でダイナミックなその表現は、弟フェーリクスの同じ二短調のピアノ三重奏曲と比較すると、むしろ対照的であ



ベルリンのメンデルスゾーン家では父アラハムが「日曜音楽会」を自宅で開催。フェーリクスやファニーはそこで作品を発表し、演奏を披露した。ファニーは結婚後も自宅で「日曜音楽会」を催した。写真は、フェーリクスが最後に暮らしたライプツィヒの家(メンデルスゾーン・ハウス)の音楽サロンの現在の様子。「日曜音楽会」にはシューマン夫妻も訪れた。  
Photo©Christiane Schmidt

ある。

クララ・シューマンは、広範な演奏活動によって大きな影響力を持った。クララの作品はピアノ曲が主であるが、ピアノ協奏曲(オーケストレーションはローベルト・シューマンによる)やピアノ三重奏曲ト短調も手掛けている。この室内楽作品は古典的な書法をふまえつつ、非常に創造性あふれる作品である。

19世紀はいわゆるジェンダー社会であった。そのなかで女性が主体性を発揮し、評価される数少ない分野が音楽であった。その意味でファニーやクララの創作は歴史的な意味をもつ。

19世紀の女性作曲家でもっとも重要なのは、院長フランソワ・オーベールによって抜擢されてバリ音楽院の最初の女性教授に主任したルイーゼ・ファランク(1804～75)で

あろう。彼女の室内楽には2曲のピアノ五重奏曲や2曲のピアノ三重奏曲、1曲のクラリネット三重奏曲、ヴァイオリン・ソナタやチェロ・ソナタ、九重奏曲や七重奏曲などがある。これらは伝統的なドイツ語圏の器楽作品の書法の研究を踏まえて作曲された非常に構成的な作品で、同時期のフランスのほかの作曲家の作品と比較しても抜きん出ている。

室内楽は身近な人間関係のなかで営まれるジャンルである。そこにはほかのジャンルとは異なる濃密な音楽の時間が集約されており、人間的な温かい情感に満ちている。

### 「佐藤俊介の現在」への期待

19世紀は市民の女性に初めて音楽の活動の場を与えた時代であった。その意味で、メンデルスゾーンとシューマンとともに、なかなか生の演奏の機会の少ないファニー・メンデルスゾーンとクララ・シューマンの室内楽をプログラムに取り入れた今回の佐藤俊介さんの企画は非常に画期的である。19世紀音楽は実は、まだまだ未知の領域が多い。バロック音楽の演奏に新機軸を打ち出した佐藤さんが、今度は19世紀の音楽にも新しい切り口を与えてくれるこの演奏会に大いに期待したい。

チケット発売中

### 佐藤俊介の現在 Vol.2 ドイツ・ロマン派への新たな眼差し

2.13(土)開演15:00 彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール  
[出演] 佐藤俊介(ヴァイオリン) 岡本誠司(ヴァイオリン)  
原 麻理子(ヴィオラ) 鈴木秀美(チェロ) スーアン・チャイ(フォルテピアノ)

[曲目] ファニー・メンデルスゾーン: ピアノ三重奏曲 二短調 作品11より  
フェーリクス・メンデルスゾーン: 弦楽四重奏曲第6番 ヘ短調 作品80  
クララ・シューマン: ヴァイオリンとピアノのための3つのロマンス 作品22  
ローベルト・シューマン: ピアノ五重奏曲 変ホ長調 作品44

チケット(税込) 一般 正面席4,500円 バルコニー席3,000円  
U-25\*(バルコニー席対象)1,500円 メンバーズ 正面席4,100円

\*U-25チケットは公演時、25歳以下の方が対象です。入場時に身分証明書を提示ください。

### 【関連企画】レクチャー付き公開リハーサル

2.11(木・祝)15:00～(約1時間を予定)

[場所] 彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール

[参加費] 1,000円 ※「佐藤俊介の現在Vol.2」チケットをお持ちの方は無料

[申込方法] 往復はがきの往復面、またはメールに下記事項をご記入の上、お送りください。

①氏名 ②年齢 ③郵便番号、住所 ④電話番号 ⑤公演チケットの座席番号

[定員] 先着100名 ※定員に達した場合は申込を締切いたします。予めご了承ください。

[申込先] 〒338-8506 埼玉県さいたま市中央区上峰3-15-1

(公財)埼玉県芸術文化振興財団 事業部「佐藤俊介 公開リハーサル係」あて  
またはメールアドレスmusic@saf.or.jp

[お問い合わせ] 彩の国さいたま芸術劇場(音楽担当) 048-858-5506



ピアノ・エトワール・シリーズ アンコール! Vol.5

# 福間 洸 太郎

Interview

## 「時空を超えた旅」と「戦争と平和」 命日に捧げる武満徹へのオマージュ

「ピアノ・エトワール・シリーズ」に出演した新鋭ピアニストのなかから、お客様のリクエストに応じて再登場する「アンコール!」シリーズ第5回に、福間洸太郎が登場。公演日の2月20日は、日本を代表する作曲家・武満徹の20年目の命日。考え抜いたプログラミングで作品に新たな光を当てる福間のセンスは、今回のリサイタルで、より一層冴える。

取材・文 ● オヤマダアツシ (音楽ライター) Photo ● 宮川舞子

チケット発売中

### ピアノ・エトワール・シリーズ アンコール! Vol.5 福間洸太郎 ピアノリサイタル

**2.20(土) 開演15:00 彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール**  
 [曲目] 武智由香: 新曲委嘱作品(世界初演)  
 ドビュッシー: 映像第2集  
 クセナキス: エヴリアリ  
 武満 徹: フォー・アウェイ  
 スクリャービン: ピアノ・ソナタ第4番 嬰へ長調 作品30  
 プロコフィエフ: ピアノ・ソナタ第7番 変ロ長調 作品83「戦争ソナタ」  
 J. S. バッハ(福間編曲): 憐れみたまえ、我が神よ(《マタイ受難曲》より)  
 武満 徹: リタニー マイケル・ヴァイナーの追憶に—  
 チケット(税込) 一般 正面席3,500円 バルコニー席2,500円  
 U-25\*(バルコニー席対象)1,000円 メンバーズ 正面席3,200円

\*U-25チケットは公演時、25歳以下の方が対象です。入場時に身分証明書をご提示ください。

#### 時空を超えての旅、遠くへの憧れ 武満徹の存在を軸とした奥深い選曲

音楽界においては、おそらく世界的な話題となるであろう2016年2月20日。作曲家、武満徹がこの世を去ってちょうど20年となるモニュメンタルな日であるが、彩の国さいたま芸術劇場のステージにはピアニストの福間洸太郎が、限らないオマージュとリスベクトの気持ちを胸に登場する。パリ国立高等音楽院へ留学し、日本でもその名前が知られるようになっていた2007年。福間はナクソス・レーベルから武満徹の全ピアノ・ソロ作品集(CD)をリリースして注目を集めた。

「CDの発売をきっかけに、武満さんの音楽を聴きながら生涯をたどるレクチャー・リサイタルを日本やフランスほかで行いましたが、その経験が今回のプログラムにつながっています。前半は特に『時空を超えての旅、異国や遠くの世界への憧れ』というイメージで選曲しましたが、ドビュッシーは音楽で東洋的な味わいを表現しましたし、スクリャービンの関心はこの世界を超越した宇宙へと向いていました。クセナキスの《エヴリアリ》と武満の《フォー・アウェイ》には面白い共通点があります。1972年に2人はインドネシアのバリ島へ足を運び、ガムラン音楽に出会って衝撃を受けているのですが、2つの曲はその経験から生まれているのです。聴いてみるとまったく違ったタイプの音楽であるのが面白く、クセナキスは今まで演奏してきた中でもっとも難易度の高い作品だと言えるでしょう。そうした『旅』の最初には、武智由香さんをお願いした新曲を演奏しますが、彼女も武満作品からインスピレーションを

得ている作曲家です。今回は日本の俳句をモチーフにとリクエストをさせていただきましたが、どのような作品が届くのか楽しみにしているところです」

#### 「戦争と平和」を テーマにした闘争と祈り 初めて取り組む プロコフィエフ作品の衝撃

武満へのオマージュというテーマでありながら、プログラムの後半にあるプロコフィエフのピアノ・ソナタ第7番にも目を奪われる。第6番・第8番とあわせて「戦争ソナタ」と称される作品だが(3曲とも第二次世界大戦中に作曲された)、コンサート全体の中でも大きなクライマックスを作り上げる音楽となるだろう。

「後半のテーマは『戦争と平和』なのですが、プロコフィエフのソナタ第7番をコンサートで演奏するのは初めてです。以前より興味はありましたが、あまりに強烈な個性をもっている作品ですし、豪快に弾いて喝采を浴び、まるで戦争そのものを賛美するようなイメージになってしまうことに抵抗がありました。自分が演奏するにはきちんとした理由が必要だと思い、その機会に出会えるのを待っていたのです。プロコフィエフの音楽は以前からシニカルな側面が気になっていましたが、彼の自伝を読むなどして少しずつ理解を深め、ようやくその意味をつかみかけてきました。ロシア革命や2つの世界大戦を経験してきた人でもあるので、彼が残してくれたものを混沌としている現代にも問いかけたいと思います」

コンサートの終盤には再び武満作品が演奏され、さらには武満が亡くなる直前に聴



福間洸太郎 ピアノ  
Kotaro Fukuma

世界5大陸を舞台に活動するピアニスト。パリ国立高等音楽院、ベルリン芸術大学、コモ湖国際ピアノアカデミーにて学ぶ。20歳でクリエグランド国際コンクール優勝およびショパン賞受賞。これまでにカーネギーホール、リンカーンセンター、ウイグモアホールでリサイタル他、クリエグランド管、モスクワ・フィル、イスラエル・フィル、フィンランド放送響などと共演。「モルダウ〜水に寄せて歌う」(DENON)など10枚のCDをリリース。ベルリン在住。  
オフィシャル・サイト  
www.kotarofukuma.com/

いたというバッハの《マタイ受難曲》から、弟子ペテロがイエスを否認するシーンで歌われる有名な懺悔の aria「憐れみたまえ、我が神よ」を演奏する。後者は福間本人による、このリサイタルのための編曲だ。「祈りという意味をもつ『リタニ』は1989年の作品ですが、振り返ってみると1980年代の後半は社会の激動期でしたから、こうした作品にもその影響があると思います。武満さんがとても大切にされていたという《マタイ受難曲》からの aria とあわせ、オマージュにふさわしい空気を作り上げていきたいと考えています」

#### 3回目となる彩の国さいたま芸術劇場で オリジナル選曲によるリサイタルを

彩の国さいたま芸術劇場でリサイタルを行うのは、2006年と2009年に続き、今回が3回目。過去にも武満作品やJ.S.バッハの《フーガの技法》、ベートーヴェンのピアノ・ソナタ第31番などを演奏し、個性的で思慮深いプログラミングを聴かせてくれている。

「常に新鮮な気持ちで音楽に取り組みたいですし、弾き慣れたショパンの曲なども違ったプログラムの中で弾くと、まったく異なる印象を受けます。その面白さや発見は何物にも代えがたいですね。彩の国さいたま芸術劇場は、響き、空間、広がりなど印象的なことが多く、明確なイメージをもちながら『このホールなら、こういう選曲で』とプログラムを組むことができます」

まさに、このホールだからこそ聴けるテーマと選曲、そして演奏。メモリアル・デーとも言える2月20日が印象深いものになりそうである。

最近、シューベルトの音楽にとても心を動かされます

昨年デビュー30周年を迎えた小山実稚恵は、ピアノを愛し、ピアノを弾くことに無上の喜びを感じているピアニストである。常に謙虚で慎ましく、心に浮かぶさまざまな思いを音楽にのせて伝えていく。

彩の国さいたま芸術劇場での4年ぶりのリサイタルとなる「次代へ伝えたい名曲」では、彼女がいま、ピアニストとして伝えたい思いがそれぞれの曲に込められている。まずは、最近とても心を動かされると語るシューベルト《即興曲》について。

「シューベルトの作品には、ピアノでしか表せない微妙な表情があり、ピアノを超えた歌があります。昔から好きな作曲家でしたが、このところじんわりと、新しい何かを感じています。なかでも《即興曲》は、言葉にできない胸騒ぎがあったり、旋律やその色合いが現れるたびに少しずつ変わったり、和音がわずかに変化したりします。しみじみとして心から優しい、私にとって特別な作品です」

それに対してバッハ（ブゾーニ編曲）の

《シャコンヌ》は、ドラマティックで技巧的な作品である。

「これは、編曲だからこそ可能な、楽器の潜在能力をピアニスティックに表現できる作品であり、また変奏曲なのでそこにいろいろな思いを自由に込めることができます。後悔を感じたり、希望に満ちたりとわかりやすく現れるのも特徴です。大聖堂のステンドグラスを通して光を浴びるような雰囲気、嘆くときも大きく声を出すような感じがします。

ブゾーニはピアニストでしたから、ピ

ニストの心理もわかって作っていますね。二長調に転調して静かになったり、どんなに悲しんでも光を浴びているのでそれが充実感につながります。それからピアノがオーケストラの楽器のように響いたり、オルガンの響きを感じられたり。名曲ですね」

初披露するバルトーク《ピアノ・ソナタ》は、ピアノ曲史上、革命的な作品

今回初めて披露する曲目もある。20世紀のピアノ音楽において新たな方向を示し

たバルトーク《ピアノ・ソナタ》である。

「これは、ピアノ曲のなかでも革命的な曲だと思います。打楽器的で、リズムが冴えて聴こえるので、そこだけが強調されますが、プロコフィエフよりずっと和声感を感じます。そして、この素晴らしい曲のあとに何を上げようか随分と考えて、武満徹さんが編曲されたビートルズの《ゴールデン・スランパー》を選びました。小さな曲ですが、次のショパンへもすっとつながります。もちろん演奏するのは初めてです」

そして小山が最も大切にしているレパー

トリーであるショパンの作品へと続く。

「ショパンの協奏曲が大好きなので、ショパン自身が独奏用に編曲した第2番第2楽章を弾きます。協奏曲でも独奏でも同じように完成された美しさがあります。これは、悲劇でも満足でもない、若い気持ちです。ショパンがパリに行く前の作品ですから、希望もあり、それがまだ初々しく、迷いがありません。それなのに初恋のコンスタンツィヤには何も言うことができない。これだけの音楽が書けるのだから思いを伝えたいのにとおもいますよね（笑）。メールで何でも伝えてしまう現代だからこそ、若い人にもこの心を感じてほしいですね」

東日本大震災後に何度も弾いた「英雄ポロネーズ」この曲には特別な「勇気」があります

プログラム最後の「英雄ポロネーズ」には特別な思いが込められている。

「ショパンのポロネーズの中では『幻想ポロネーズ』や第5番が好きですが、『英雄ポロネーズ』には他にはない勇気があります。東日本大震災の後は、本当によく弾いていました。私は仙台で生まれ、盛岡で育きましたから、人生において一番落胆したのが

あの震災でした。これは、ショパンの作品の中でも漲る力と芯がしっかりある特別な曲で、気持ちを前向きにしてくれます」

震災直後から「心の復興」と被災地でも演奏活動を続けている彼女の言葉は力強く、説得力がある。さらに近年は、マスタークラスでの指導や子どもたちのためのプロジェクトの企画など、活動の幅を大きく広げている。

「若い人には、音楽が好きだという気持ち、いいなと思う心を大切にしてほしいですね。学生さんには、自分が弾く曲が好きになってほしいと思います。私のコンサートでは、音楽が好きという思いをお客様と共有して、その曲を愛してもらえ演奏ができたと思っています」

最後に、劇場開館以来、多くの公演に出演されている小山さんにホールの印象をうかがってみた。

「大きさも響きも抜群です。今回のシューベルトもホールの響きに合っていると思います。お客様も温かくて。それと、学生時代、10年ほど大宮に住んでいたのが懐かしさもあります。当時の知人も聴きにきてくださったので、彩の国で演奏するのは本当に楽しみです」



小山実稚恵 ピアノ  
Michie Koyama

人気・実力ともに日本を代表するピアニスト。チャイコフスキー、ショパンの二大国際ピアノ・コンクールに入賞以来、今日に至るまで、協奏曲、リサイタル、室内楽と、常に第一線で活躍し続けている。2015年にはデビュー30周年記念演奏会が文化庁芸術祭音楽部門優秀賞を受賞。2011年の東日本大震災以降、東北出身ということもあり「被災地に生の音を届けたい」との強い思いで被災地活動を継続している。CDはソニー・ミュージックジャパンインターナショナルと専属契約を結び、最新盤「シューベルト：即興曲集」は前作「ヴォカリーズ」「シャコンヌ」から3作連続で「レコード芸術」特選盤に選ばれた。

チケット発売中

彩の国さいたま芸術劇場シリーズ企画  
「次代へ伝えたい名曲」第6回  
小山実稚恵 ピアノ・リサイタル

3.5(土)開演14:00 彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール

【曲目】シューベルト：即興曲集より  
J.S.バッハ（ブゾーニ編曲）：シャコンヌ  
リスト：愛の夢第3番 変イ長調  
バルトーク：ピアノ・ソナタ Sz.80, BB 88  
レノン&マッカートニー（武満徹編曲）：ゴールデン・スランパー  
ショパン：ピアノ協奏曲第2番 ヘ短調 作品21より 第2楽章  
ショパン：ポロネーズ第6番 変イ長調 作品53「英雄」

チケット(税込) 一般 正面席4,000円 バルコニー席3,000円  
U-25\*(バルコニー席対象)1,500円 メンバーズ 正面席3,600円

\*U-25チケットは公演時、25歳以下の方が対象です。入場時に身分証明書をご提示ください。

「次代へ伝えたい名曲」第6回

# 小山実稚恵

Interview

「音楽が好き」  
その気持ちを  
大切にしてほしい

日本のトップ・アーティストたちが「次の世代へ受け継ぎたい名曲」を選曲してお贈りするシリーズ「次代へ伝えたい名曲」。

第6回は、デビュー30周年を迎えた、名実ともに日本を代表するピアニスト・小山実稚恵だ。

これまで彩の国さいたま芸術劇場でさまざまな演奏会を行っている彼女が

今回のために選んだプログラムには、

それぞれの曲に彼女の今の思いが込められている。

取材・文●柴辻純子(音楽評論家) Photo●ヒダキトモコ

# Review

レビュー

## DANCE

**ボワヴァン／ウバン／ラリュール**  
**『En Piste -アン・ピスト』**  
11.6(金)・7(土) 彩の国さいたま芸術劇場 小ホール



1980年代、仏ダンス界に生まれたヌーヴェル・ダンスを牽引したダニエル・ラリュールをはじめとする1950年代生まれの振付家・ダンサー3人による作品が来日した。バルバラ、レオ・フェレ、セルジュ・ゲンスブールなどの16曲のシャンソンに合わせた〈身振りのシャンソン〉は、さり気ないユーモアに溢れ、リラックスした中に不思議な力強さがみなぎる。彼らが時代、時代に親しんできたという曲、そして動きの向こうには、青春、愛、社会への怒りなど、歌の魂が透けた。つねに世界に対峙し、ダンスを生んできたアーティストたちの誠実さが深い〈語り〉を生み、混沌の時代に向かう勇気をもたらした気がする。

Photo©Arnold Groeschel

## PLAY

**パリ市立劇場『犀』**  
11.21(土)～23(月・祝) 彩の国さいたま芸術劇場 大ホール



不条理劇を代表する作家ウジェーヌ・イヨネスコの戯曲を、パリ市立劇場の芸術監督であるエマニュエル・ドゥマルシー＝モタが演出。作者が祖国ルーマニアで目の当たりにしたファシズムの台頭をモチーフに、人間がどんどん犀になっていく物語を、メタリックな美術、スピード感ある運びで、スタイリッシュに仕上げた。冒頭「幼いころから周囲とうまく波長を合わせられない…」と主人公ベランジェが語る戯曲にない独白を入れ(イヨネスコの小説『孤独な男』からの引用)、終始弱々しいベランジェが、友も愛も失い、なお〈一人の人間〉として立ち向かおうと決意するラストは印象的だった。

Photo©Arnold Groeschel

## MUSIC

**NHK交響楽団**  
**下野竜也(指揮) 清水和音(ピアノ)**  
11.8(日) さいたま市文化センター 大ホール



今年はさいたま市文化センターで開催された、毎年恒例のNHK交響楽団公演。客席をじっと見つめ、大勢のお客様へ思いを込めて弾き始めた清水和音のラフマニノフのピアノ協奏曲第3番は、強靱なタッチによるダイナミックな演奏であると同時に、静かな部分では1音1音かみしめるような音が絶品。オーケストラも第2楽章の色彩の変化など見事だった。後半のベートーヴェンの交響曲第7番は、下野竜也の踊るような指揮から躍動感あふれる音楽が導きだされた。木管楽器の構えを上げさせるなど独自の仕掛けをしたり、第4楽章は指揮の動きとオーケストラの音響の連携が圧巻。客席も大満足の熱演となった。

Photo©加藤英弘

## MUSIC

**「次代へ伝えたい名曲」第5回**  
**今井信子 ヴィオラ・リサイタル**  
11.28(土) 彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール



自分に作曲された作品を「次代へ伝えたい」と選曲したリサイタル。野平一郎《トランスフォルマシオンI》はバッハ〈シャコンヌ〉をヴィオラ4台で演奏するもの。次代を担う学生3人との共演で、1フレーズを4人で紡ぎ、原曲とはひと味違う厚い響きを聴かせた。武満徹の2作品は、奥義を知る今井ならではの、作品への愛と誇りに満ちた演奏。今井の音は、細川俊夫編曲のバッハ作品で“祈り”となり、ブラームスのヴィオラ・ソナタ第1番で歌そのものとなった。音が、楽器という媒体の存在を超え、音楽の本当の姿を聴かせてくれたリサイタルだった。ピアノのキム・ソヌクも好演。今井も大きな拍手を送っていた。

Photo©横田敦史

## MUSIC

**マリア・ジョアン・ピリス**  
**バルティトゥーラ・プロジェクト in 彩の国**  
**若き俊英グーアンを迎えて**  
11.15(日) 彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール



他者と音楽を共有しながら音楽家の育成を目指すピリス主宰「バルティトゥーラ・プロジェクト」のリサイタル。終演後のトークで「ピアニストに必要なのは、演奏のレッスンは1%だけ。あとは人生のレッスンが重要」とピリスは語ったが、若き音楽家は彼女と並んで弾くだけで大きなものを得るといふ。この日は、シューベルトの連弾曲だけでなく、ソロ曲も、プロジェクト第1期生グーアンとピリスは共に舞台上に留まり音楽を共有しながら演奏した。ベートーヴェンのソナタは、ピリスの第31番は“怒り”から“祈り”まで一つのドラマを語るようで、グーアンの「ヴァルトシュタイン」は色彩豊かな温かい響きで魅せた。

Photo©加藤英弘

## MUSIC

**ピアノ・エトワール・シリーズ アンコール! Vol.4**  
**フランチェスコ・トリスターノ ピアノ・リサイタル**  
11.29(日) 彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール



バッハ《パルティータ》と自作のみで構成された、トリスターノならではのグルーヴ感あふれる演奏会。弦を押さえて音を変えるユニークな響きの《KYETOP》は、B♭を鳴らし続けたままバッハ《パルティータ第1番》になり、第1曲プレリューディウムも《KYETOP》の1曲のように聴こえるリズム感。その後も《パルティータ》はバロックの舞曲というよりも現代のダンスを思わせる拍節感で演奏された。注目の《主題と変奏》世界初演は4音からなる主題が瞑想的に変奏され、自作《シャコンヌ》は打楽器的でもありミニマル的でもあった。冴えわたる演奏でトリスターノの世界観に染まったりリサイタルだった。

Photo©加藤英弘

PLAY DANCE MUSIC EVENT CINEMA

大ホール 小ホール 音楽ホール 映像ホール 情報プラザ = 彩の国さいたま芸術劇場  
 3歳以上のお子様から楽しんでいただける公演です。  
 光の庭プロムナード・コンサートには年齢制限はありません。

## PLAY

1.15(金) 彩の国さいたま寄席 四季彩亭  
 ～新春若手落語家競演会  
 小ホール 開演14:00 詳細はP.21

2.9(火)～28(日) 『蟬の綿 -Nina's Cotton-』 蛭川幸雄 演出版  
 彩の国さいたま芸術劇場 インサイド・シアター (大ホール 内)  
 2.9(火) 18:30 19(金) 14:00  
 10(水) 14:00 20(土) 13:30/18:30  
 11(木祝) 14:00 21(日) 14:00  
 12(金) 14:00 22(月) 休演  
 13(土) 13:30/18:30 23(火) 14:00  
 14(日) 14:00 24(水) 18:30  
 15(月) 休演 25(木) 貸切  
 16(火) 14:00 26(金) 14:00  
 17(水) 18:30 27(土) 13:30/18:30  
 18(木) 13:30/18:30 28(日) 14:00  
 詳細はP.3-5

2.11(木祝)～25(木) 『蟬の綿 -Nina's Cotton-』 藤田貴大 演出版  
 小ホール  
 2.11(木祝) 19:00 19(金) 19:00  
 12(金) 19:00 20(土) 14:00/19:00  
 13(土) 19:00 21(日) 19:00  
 14(日) 19:00 22(月) 休演  
 15(月) 休演 23(火) 19:00  
 16(火) 19:00 24(水) 14:00/19:00  
 17(水) 14:00 25(木) 14:00  
 18(木) 14:00 詳細はP.3-5

## DANCE

1.28(木)～31(日) インバル・ピント&アヴシャロム・ボラック  
 ダンス・カンパニー  
 『DUST—ダスト』  
 大ホール  
 28(木)・29(金)開演19:00 30(土)・31(日)開演15:00  
 詳細はP.21

## MUSIC

1.16(土) 光の庭プロムナード・コンサート第81回  
 ～パイプと声のハーモニー～  
 情報プラザ 開演14:00 \*入場無料  
 [出演]原田真侑(オルガン) & 佐々木洋平(テノール)  
 [曲目]ヘンデル: オンプラ・マイフ  
 J. S. バッハ: 主よ、人の望みの喜びよ  
 J. S. バッハ: いと高きにある神にのみ栄光あれ BWV 675-677  
 ベーム: 「イエスよ、汝はあまりに美しく」による変奏曲  
 即興演奏  
 パーセル: 聴け、大気はこだまして  
 J. S. バッハ: カンタータ《われは満ちたれり》 BWV 82 より

1.22(金) ピアノ・エトワール・シリーズ Vol.28  
 チョ・ソンジン ピアノ・リサイタル  
 音楽ホール 開演19:00  
 ※チョ・ソンジン氏のショパン国際ピアノコンクール優勝に伴い、  
 当初の公演日時より変更いたしました。  
 ※予定枚数終了

2.13(土) 佐藤俊介の現在 Vol.2  
 ドイツ・ロマン派への新たな眼差し  
 音楽ホール 開演15:00  
 ※2月11日(木・祝)15:00～レクチャー付公開リハーサルを開催します。  
 詳細はP.12-13

2.20(土) ピアノ・エトワール・シリーズ・アンコール! Vol.5  
 福間洸太郎 ピアノ・リサイタル  
 音楽ホール 開演15:00 詳細はP.14-15

3.5(土) 彩の国さいたま芸術劇場シリーズ企画  
 「次代へ伝えたい名曲」第6回  
 小山実稚恵 ピアノ・リサイタル  
 音楽ホール 開演14:00 詳細はP.16-17

3.12(土) 光の庭プロムナード・コンサート第82回  
 ～歴史的トランペットと小型オルガンによるさまざまな響き～  
 情報プラザ 開演14:00 \*入場無料  
 [出演]大塚直哉(オルガン)&霧生貴之(トランペット)  
 [曲目]クラーク: ヴェニスの謝肉祭  
 シャルパンティエ: 《テ・デウム》より(前奏曲) ほか

## EVENT

1.17(日) 埼玉伝統芸能フェスティバル  
 ～鷲宮催馬楽神楽・熊谷歌舞伎の世界～  
 大ホール 開演13:00  
 ※申込みは終了しました。  
 [お問合わせ]埼玉県文化振興課 TEL.048-830-2879(土日・祝日を除く8:30～17:15)

…彩の国さいたま芸術劇場 休館日

2016	1	2	3																		
S	M	T	W	T	F	S	S	M	T	W	T	F	S	S	M	T	W	T	F	S	
					1	2		1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5		
	3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13	6	7	8	9	10	11	12
	10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20	13	14	15	16	17	18	19
	17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27	20	21	22	23	24	25	26
	24	25	26	27	28	29	30	28	29	30	31				27	28	29	30	31		
	31																				

【埼玉会館 改修工事のお知らせ】  
 2017年3月31日(金)まで、埼玉会館は改修工事のため休館とさせていただきます。

## CINEMA

彩の国シネマスタジオ  
 【全席自由・各回入替制・整理券制】  
 大人1,000円/学生500円 [入場時に学生証をご提示ください]  
 ※料金は当日現金支払いのみ  
 ※1月の「優秀映画鑑賞推進事業」は大人・学生とも1作品500円です。  
 ※3月の「春休みスペシャル」は高校生以上1,000円/中学生以下(3歳以上)500円です。

1.21(木)～24(日) 映像ホール

優秀映画鑑賞推進事業  
 A『めぐりあい』 B『八月の濡れた砂』  
 C『約束』 D『忍ぶ川』  
 21(木) 11:00C※①/14:00A/17:00D  
 22(金) 10:30B/14:00D/17:30A  
 23(土) 10:30D/14:00C/17:30B  
 24(日) 10:30A/14:00B※②/17:30C  
 ※①11:00音声ガイドあり ※②14:00終映後、アフタートークあり(予定)  
 A『めぐりあい』(1968年/東宝/91分)  
 [監督]恩地日出夫 [出演]酒井和歌子、黒沢年男、田村 亮 ほか  
 B『八月の濡れた砂』(1971年/日活/91分)  
 [監督]藤田敏八 [出演]村野武範、広瀬昌助、テレス野田 ほか  
 C『約束』(1972年/斎藤耕一プロダクション/88分)  
 [監督]斎藤耕一 [出演]萩原健一、岸 恵子、三国連太郎 ほか  
 D『忍ぶ川』(1972年/俳優座映画放送/120分)  
 [監督]熊井 啓 [出演]加藤 剛、栗原小巻 ほか  
 ※古いフィルムのため一部音声聞き取りづらい箇所があります。あらかじめご了承ください。

2.18(木)～21(日) 映像ホール

『奇跡のひと マリーとマルグリット』  
 (2014年/フランス/94分)  
 [監督]ジャン＝ピエール・アメリス  
 [出演]イザベル・カレ、アリアーナ・リヴォアール ほか  
 18(木) 11:00※①/14:00/17:30  
 19(金) 10:30/14:00/17:30  
 20(土) 10:30/14:00/17:30  
 21(日) 10:30/14:00  
 ※18日11:00音声ガイドあり



©2014-Escapal Films/France 3 Cinéma-Rhône-Alpes Cinéma

3.17(木)～20(日) 映像ホール

A『ニュー・シネマ・パラダイス』  
 B『ASAHIZA 人間は、どこへ行く』  
 ※上演時間の詳細はホームページ等でお知らせいたします。  
 A『ニュー・シネマ・パラダイス』(1988年/イタリア・フランス/124分/PG12)  
 [監督・脚本]ジュゼッペ・トナトーレ  
 [出演]フィリップ・ヌワレ、ジャック・ペラン、サルヴァトーレ・カンシオ ほか  
 ※劇場公開版/客席内からのフィルム上映  
 B『ASAHIZA 人間は、どこへ行く』(2013年/日本/74分)  
 [監督]藤井 光



©1989 CristianidFilm.

3.23(水)～26(土) 映像ホール

春休みスペシャル  
 『ひつじのショーン バック・トゥ・ザ・ホーム』  
 (2014年/イギリス/85分)  
 [監督]マーク・バートン、リチャード・スターザック  
 ※上演時間の詳細はホームページ等でお知らせいたします。



©2014 Aardman Animations Limited and Studiocanal S.A.

PLAY DANCE MUSIC

大ホール 小ホール 音楽ホール 映像ホール 情報プラザ = 彩の国さいたま芸術劇場  
 \*U-25チケットは公演時、25歳以下の方が対象です。入場時に身分証明書をご提示ください。

## PLAY

発売中 彩の国さいたま寄席 四季彩亭  
 ～新春若手落語家競演会  
 1.15(金)14:00 小ホール  
 [出演]柳亭市馬(ゲスト)、古今亭文菊、林家たけ平、  
 林家ぼたん、柳亭市弥  
 チケット(税込) 全席指定 一般3,000円  
 ゆうゆう割引(65歳以上・障がい者)2,000円  
 メンバーズ 2,700円

発売中 『蟬の綿 -Nina's Cotton-』  
 詳細はP.3-5

発売中 彩の国さいたま寄席 四季彩亭  
 ～精鋭若手落語会  
 4.15(金)14:00 小ホール  
 [出演]柳家三三(ゲスト)、  
 三遊亭遊馬、三遊亭彩大 ほか  
 チケット(税込) 全席指定 一般3,000円  
 ゆうゆう割引(65歳以上・障がい者)2,000円  
 メンバーズ 2,700円

発売日 一般 3,190(土) メンバーズ 3,120(土)  
 ※メンバーズプレオーダー(抽選)があります

彩の国シェイクスピア・シリーズ第32弾  
 『尺には尺を』 詳細はP.6-7

## DANCE

発売中 インバル・ピント&アヴシャロム・ボラック  
 ダンス・カンパニー  
 『DUST—ダスト』  
 1.28(木)・29(金)19:00  
 30(土)・31(日)15:00 大ホール  
 [振付・衣裳・美術・音楽デザイン]  
 インバル・ピント&アヴシャロム・ボラック  
 [出演] インバル・ピント&アヴシャロム・ボラック ダ  
 ンス・カンパニー (アリエル・ゲルバート、ツヴィ・フィッ  
 シュン、ノガ・ハルメルン、モラン・ミユラー、森山未来、  
 コルデアア・ランゲ、アスト・マルシノ)  
 チケット(税込)  
 一般 S席6,500円 A席4,500円  
 U-25\* S席3,500円 A席2,000円  
 メンバーズ S席5,850円 A席4,050円

発売日 一般 1,300(土) メンバーズ 1,240(日)  
 アクラム・カーン&イスラエル・ガルバン  
 『TOROKAKA—トロバカ』  
 詳細はP.10-11

発売日 一般 3,500(土) メンバーズ 2,270(土)

コンドルズ 埼玉公演2016『新作』  
 6.18(土)14:00/19:00 19(日)15:00

大ホール  
 [構成・映像・振付]近藤良平  
 [出演]コンドルズ  
 チケット(税込)  
 一般 前売 S席5,000円 A席3,500円  
 当日 S席5,500円 A席4,000円  
 U-25\* 前売 S席3,000円 A席2,000円  
 当日 S席3,500円 A席2,500円  
 メンバーズ 前売 S席4,500円 A席3,200円  
 当日 S席5,000円 A席3,700円



Photo©HARU

## MUSIC

予定枚数終了  
 ピアノ・エトワール・シリーズVol.28  
 チョ・ソンジン・ピアノ・リサイタル  
 1.22(金) 19:00 音楽ホール

発売中 佐藤俊介の現在 Vol.2  
 ドイツ・ロマン派への新たな眼差し  
 詳細はP.12-13

次頁へ続く

## 彩の国さいたま芸術劇場「劇場体験ツアー」レポート

街がクリスマスカラーに彩られる年末の12月、彩の国さいたま芸術劇場では「劇場体験ツアー」が開催されました。これは、小学生の子どもたちとその保護者の方々に舞台のバックステージを巡っていただく恒例の人気企画。客席からだけでは分からない、舞台を盛り上げるさまざまな「秘密」をご覧いただきました。

さいたまネクスト・シアターの団員扮するツアー探検隊の案内役に誘われ、奈落と呼ばれる劇場の地下から、最上階のスポットライトを操作するピルルームまで、階段を登ったり降りたりしながら、劇場をくまなく大冒険。照明や効果音を自在に操るスタッフの仕事に皆が興味津々。子どもはもちろん、保護者の方からもスタッフへの質問が飛び出し、和やかな雰囲気、楽屋にも訪問。舞台上俳優が実際に着用した豪華なドレスやアクセサリ、着ぐるみ、メイク道具一式なども目の前にズラリ並び、二人の俳優で操るリアルな馬の登場には、参加者から歓声が上がりました。

最後はスタート地点であるステージ上に戻り、閉まっていた幕が開くと参加者に輝くライトがあたり、クリスマスソングが流れ……。しばし、出演者の気分を味わっていただき、大盛り上がりの中、フィナーレとなりました。



Photo©加藤英弘

## 彩の国さいたま芸術劇場 シェイクスピア企画委員会を開催しました

彩の国さいたま芸術劇場芸術監督蛭川幸雄が演出・監修し、シェイクスピア全戯曲37作品の完全上演を目指す「彩の国シェイクスピア・シリーズ」は、5月の上演が発表された『尺には尺を』で第32弾となり、いよいよ残すところ6作品となります。

第31弾『ヴェローナの二紳士』公演中の昨年10月22日、「彩の国さいたま芸術劇場シェイクスピア企画委員会」が開催され、今後のシリーズの方針について議論されました。約2年ぶりとなる今回、前回以降に上演された第29弾『ジュリアス・シーザー』、第30弾『リチャード二世』、「ニナガワ×シェイクスピアレジェンド」として第1弾『ロミオとジュリエット』、第2弾『ハムレット』の4作品の結果について意見が交わられたあと、議題は今後のシェイクスピア・シリーズの構想へ。知名度の高い演目は少ないながらも残り6作品の意外な演出案やキャスティング案に一同からは興奮と驚きが入り混じった声がかれました。最後の最後までシェイクスピア作品の魅力を存分に味わうことのできるラインナップには是非ご期待ください。



委員会の様子

## 「彩の国レクチャー・シリーズ」参加者募集!

「劇場と地域づくり」を考える取り組みから出発した「彩の国レクチャー・シリーズ」。今回は劇場を飛び出し、埼玉県立近代美術館で開催いたします。当日は同美術館館長、建島哲氏を講師に迎え、劇場と同じ「地域に在る文化施設」としての視点から、美術館の来し方・行く末・可能性などについて、語っていただく予定です。どなた様でもお気軽にご参加ください!



埼玉県立近代美術館

彩の国レクチャー・シリーズ  
「地域づくりと文化施設」  
—さいたまの美術館から—

【出演】 建島 哲 (埼玉県立近代美術館館長)  
竹内文則 (公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団理事長)  
【日時】 3月9日(水) 14:00~16:00 (開場 13:30)  
【会場】 埼玉県立近代美術館2階講堂(さいたま市浦和区常盤9-30-1)  
【定員】 50名/入場無料/要事前申込み(※定員に満たない場合、当日受付あり)  
※詳細は、財団ホームページをご覧ください。  
【お問合わせ】 彩の国さいたま芸術劇場 地域振興担当 048-858-5505

### 発売中

#### ピアノ・エトワール・シリーズ アンコール! Vol.5 福岡 洗太朗 ピアノ・リサイタル

詳細はP.14-15

### 発売中

#### 彩の国さいたま芸術劇場シリーズ企画 「次代へ伝えたい名曲」第6回 小山 実雅恵 ピアノ・リサイタル

詳細はP.16-17

### 発売中

#### 彩の国さいたま芸術劇場シリーズ企画 「次代へ伝えたい名曲」第7回 舘野 泉 ピアノ・リサイタル

5.14(土) 14:00 音楽ホール

【曲目】 バッハ(フアームス編曲): シヤコンヌ  
スクリャーピン: 左手のための2つの小品 作品9  
光永浩一郎: サムライ(舘野 泉に捧ぐ)  
吉松 隆: NHK大河ドラマ『平 清盛』より  
(遊びをせんとや)  
(海鳴り)

末吉保雄: 土の歌・風の声(舘野 泉に捧ぐ)  
coba: 記憶樹(舘野 泉に捧ぐ)  
—「舘野 泉 左手の文庫」助成作品

チケット(税込)  
一般 正面席 4,000円 バルコニー席 3,000円  
U-25\*(バルコニー席対象) 1,500円/メンバーズ: 3,600円

【4公演セット券】発売日 一般 2.6(土) メンバーズ 1.30(土)

【アンコールVol.6 単独券】発売日 一般 3.5(土) メンバーズ 2.27(土)

#### ピアノ・エトワール・シリーズ アンコール! Vol.6 アレクサンダー・ガヴリリェク Vol.29 田村 響

#### Vol.30 ニコライ・ホジャイノフ Vol.31 キット・アームストロング

【会場】 音楽ホール

【日時・曲目】

【アンコール! Vol.6】 7.16(土) 15:00  
ショパン: ポロネーズ第6番 変イ長調 作品53「英雄」  
ラフマニノフ: 練習曲集《音の絵》作品39より ほか

【Vol.29】 9.11(日) 15:00  
ベートーヴェン: ソナタ第8番 ハ短調 作品13「悲愴」  
ショパン: スケルツォ全4曲 ほか

【Vol.30】 11.19(土) 15:00  
ショパン: アンダンテ・スピリアントと華麗な大ポロネーズ  
シューマン: 幻想曲 ハ長調 作品17 ほか

【Vol.31】 2017年 1.21(土) 15:00  
アームストロング: 細密画  
J. S. バッハ: バルティータ第6番 ホ短調 ほか

チケット(税込)

【4公演セット券】  
一般・メンバーズ 正面席 13,500円 バルコニー席 11,000円  
U-25\*(バルコニー席対象) 4,500円

【アンコール! Vol.6 単独券】  
一般 正面席 5,000円 バルコニー席 3,500円  
U-25\*(バルコニー席対象) 1,500円  
メンバーズ 正面席 4,500円

【vols.29~31】 各回  
一般 正面席 3,500円 バルコニー席 2,500円  
U-25\*(バルコニー席対象) 1,000円  
メンバーズ 正面席 3,200円



アレクサンダー・ガヴリリェク

Photo©Mika Bovan



ニコライ・ホジャイノフ

Photo©Teruyuki Yoshimura



田村 響

Photo©武藤章



キット・アームストロング

Photo©Jason Alden

### チケット購入方法について

#### インターネット

SAF オンラインチケット  
で、発売初日10:00から  
公演前日23:59まで  
オンラインチケット  
受付いたします。

【PC・携帯共通】  
http://www.ticket.ne.jp/saf/

メンバーズ 登録のご住所へ無料配送

一般 登録のご住所へ無料配送  
または【コンビニ決済】 ▶ コンビニ発券  
または【コンビニ支払い】

※チケット代他に、店頭発券手数料(チケット1枚につき120円)が必要です。  
(チケット1枚につき400円)が必要です。

#### 電話予約

#### チケットセンター 0570-064-939

10:00~19:00(彩の国さいたま芸術劇場休館日を除く)  
※一部の携帯電話、PHS、IP電話からは受付できません。

メンバーズ 登録のご住所へ無料配送

一般 登録のご住所へ無料配送  
または【コンビニ支払い】 ▶ コンビニ発券  
または【コンビニ支払い】

※チケット代他に、店頭発券手数料(チケット1枚につき120円)が必要です。  
※コンビニ支払い後に宅配便での配送も承りますが、チケット代は他に配送料(配送1件につき400円)が必要です。

#### 窓口販売

彩の国さいたま芸術劇場窓口(10:00~19:00)で直接購入  
いただけます。電話予約したチケットの引取もできます。  
※休館日をお確かめの上、ご来場ください。

メンバーズ 【口座引落】

一般 【現金】または

【クレジットカード決済】

その場で  
チケットを  
お渡します。  
※手数料は  
かかりません。

### 彩の国さいたま芸術劇場



〒338-8506 埼玉県さいたま市中央区上峰 3-15-1  
電話:048-858-5500(代) ファックス:048-858-5515

- 電車でのアクセス  
JR埼京線と野本町駅(西口)下車 徒歩7分
- バスでのアクセス  
JR京浜東北線北浦和駅から西武バス大久保行き  
JR彩の国さいたま芸術劇場入口)下車 徒歩2分

※駐車台数に限りがありますので、ご来場の際はなるべく公共交通機関をご利用ください。  
※埼玉会館は施設・設備の大規模改修工事のため、2017年3月31日まで(予定)休館となります。

(公財)埼玉県芸術文化振興財団は、演劇、ダンス、音楽を中心に、この劇場でしか見られない最高の作品を提供できるよう、蛭川幸雄芸術監督のもと、作品づくりに努めています。こうした財団の活動にご理解、ご支援をいただいているのがサポーター会員の皆様方です。(2015.12.25現在/一部未掲載)

### サポーター会員

(株)与野フードセンター/(株)亀屋/(株)松本商会/(有)香山壽夫建築研究所/埼玉新聞社/埼玉りそな銀行/(株)パシフィックアートセンター  
(株)アサヒコミュニケーションズ/FM NACK5/東京ガス(株)/カヤバ システム マシナリー(株)/(株)タムロン/(株)十万石ふくさや/森平舞台機構(株)  
東芝エルティエーエンジニアリング(株)/埼玉トヨタ自動車(株)/(有)齋賀設計工務/武蔵野銀行/浦和ロイヤルパインズホテル/アルピーノ村/国際照明(株)  
埼玉スバル/桶本興業(株)/(株)佐伯紙工所/(株)太陽商工/(株)しまむら/不動開発(株)/ビストロ やま/埼玉県信用金庫/(株)栗原運輸/彩の国SPグループ  
(有)プラネッツ/関東自動車(株)/(株)デサン/セントラル自動車技研(株)/丸美屋食品工業(株)/ポラスグループ/ひがし歯科/埼玉トヨペット(株)  
公認会計士 宮原敏夫事務所/(株)価値総合研究所/(株)埼玉交通/(医)顕正会 蓮田病院/(株)ウイズネット/サイデン化学(株)/アイル・コーポレーション(株)  
五光印刷(株)/旭ビル管理(株)/ヤマハサウンドシステム(株)/(株)エヌテックサービス/(株)クリーン工房/(株)つばめタクシー/(株)サンワックス/(株)総合舞台  
(株)タクトコーポレーション/(一財)さいたま住宅検査センター/国大グループホールディングス/(株)NEWSエンターテインメント/オーガスアリーナ(株)/イープラス  
六三四堂印刷(株)/(医)榎会 林整形外科/埼玉県整形外科医会/(医)山粋会 山崎整形外科/サンケイリビング新聞社/(株)三和広告社/(株)セノン  
ショッパー/(株)松尾楽器商会/JA埼玉県中央会/日本大学芸術学部/(株)川口自動車交通/(株)ホンダカーズ埼玉/ファミリーマートあすまや/(有)杉田電機  
丸茂電機(株)/太平ビルサービス(株)さいたま支店/(株)片岡食品/(株)協栄/(株)ヨコハマタイヤジャパン/NTT東日本 埼玉事業部/チャコット(株)/(株)平和自動車  
光陽オリエントジャパン(株)/埼玉建設(株)/さくら Music Office/クワバラ・パンぷキン/駒橋内科医院/東和アークス(株)/テレビ埼玉/日本ピストンリング(株)  
金井大道具(株)/国立大学法人 埼玉大学/(株)七越製菓/ビーンズ与野本町/(一社)埼玉県経営者協会/(株)コマーム/(株)原一探偵事務所/(株)ファーストハウジング  
飯能信用金庫/川口信用金庫/青木信用金庫/美術商(株)つくば/(株)和幸楽器/淑徳与野中学・高等学校/新日本ハウス(株)/埼玉栄中学・高等学校/大栄不動産(株)  
(株)アップオンリー AD/埼玉東和薬品(株)/相川宗一/(株)ハイディ日高/浦和実業学園中学・高等学校

お問合わせ (公財)埼玉県芸術文化振興財団 サポーター会員担当 TEL 048-858-5507



画●磯良一

## 今日はもう売れないと思うから

文●岩松了

仕事の合間に住宅地を散歩していたら、思わぬところにCafeを見つけた。何かの倉庫を改装したような店内は床がコンクリートでだだっ広い。私が入ったとき、他に客はいなかった。昼下がり、通りに面した入り口は全面ガラス張り、そのガラスに傾きかけた陽の光が差し込んで、けだるい空気を醸し出していた。coffeeをたのみと店番の女の子は打ちかけのパソコンを離れてcoffeeをいれてくれた。

私は不意に20代のころ、こんな午後の陽射しの中で店番をしていた暇そうなパン屋の女の人のマカロニパンを貰ったことを思い出した。私は二日間食べてなくて、たまたま手に入った200円を握りしめて通りかかったその店に入り「お腹にたまるパンください」と言ったのだ。するとその女の人は、私を一目見て何かを感じたのだろう「これ、今日はもう売れないと思うから」と言ってマカロニパンを二つくれたのだ。なんという親切！ どんな姿をしていたというのだ、その時の私は！

何の繋がりもないが、あのマカロニパンをくれた人と今パソコンを打っている女の子が母娘だったら、と思った。私は、あなたのお母さんがいかに親切な人だったかをお話さなければならない。だってあの出来事は私が話さなければ永遠に闇に葬られる。あなたのお母さんが一人の惨めだった男をマカロニパンで救ってくれたんだ！ そう、お母さんは本を読んでいた、レジの脇で。今キミがパソコンを打っている、そんな感じでね。ちょうどこんな午後のけだるい陽射しの中にいたよ！ そしてたまたま入ってきた私にキミがcoffeeをいれてくれたように、キミのお母さんは「今日はもう売れないと思うから」と言ってマカロニパンをくれたんだ。

きっとお母さんはその時のことなど覚えてもいないだろう。でも、どうしてかな、こんな嬉しい出来事なのに、思い出すと私を悲しい気持ちにさせるよ。跡形もないってことかな。こともなく時間が消し去る。そのことかな、悲しい理由は。だってすでに、これが本当の話だって言い張る根拠は何もないよ。

だったら、キミがあの日のあの女の人の娘だって言い張る私に異をとなえる権利は誰にもないだろう？

いわまつ・りょう

劇作家、演出家、俳優、映画監督と幅広く活躍。

さいたまゴールド・シアター『船上のピクニック』『ルート99』の劇作を手掛けた。

3月から、M&O playsプロデュース『家庭内失踪』（作・演出）を上演。